

ご参考

自NUA第25-1号-C

平成25年3月吉日

地方自治体情報システム研究会
会 員 各 位

地方自治体情報システム研究会会長
愛媛県 企画振興部 地域振興局 情報政策課
課長 三好 道範

地方自治体情報システム研究会 平成25年度総会の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より「地方自治体情報システム研究会」にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、来る平成25年5月23日(木)、24日(金)の2日間、「地方自治体情報システム研究会
平成25年度総会」を東京都港区において開催する運びとなりました。

昨年の政権交代や相次ぐ自然災害、度重なる法改正などの環境の変化に伴い、地方公共団体はその対応が急務となっております。また、住民ニーズも多様化するとともに、世の中の技術革新の進歩もめまぐるしく、従来以上に広範な情報収集を行い、様々な課題に対する柔軟かつスピード感のある施策の遂行が求められています。

特に「番号法案」は、その動向に皆様の注目が集まるところです。今回は、東京工業大学の大山教授をお招きし、国の最新の検討状況と制度導入から見えてくる将来像等についてお話し頂きます。

また、総務省様からは、調査事業に基づく新しい「ICT-BCPガイドライン」のポイントを解説して頂きます。

さらに、2日目には最新のICT技術を、実際に体感して頂けるよう、「見て・聴いて、体感！行政におけるデータ活用と新しいワークスタイル改革」と題して、最新のテクノロジーを採用し、社員の生産性を高めているマイクロソフト社のオフィス見学ツアーや、ICTを行政運営に活用している国内外の先進事例を、デモンストレーションを交えてご紹介致します。

本会合への参加を通じて得られます気付きや、他団体様との交流が、皆様の今後の業務遂行の一助となることを祈念しております。

ご多用中とは存じますが万障お繰り合わせの上、是非多くの会員様のご参加賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

敬 具

地方自治体情報システム研究会

平成 2 5 年度 総会

目次

1.	開催日程	1
2.	開催場所	1
3.	幹事団体	1
4.	後援	1
5.	受付	1
6.	スケジュール	1
7.	詳細スケジュール	2
8.	展示	3
9.	お申込み	4
10.	お問合せ先	4

会場アクセスマップ（1日目）	5
講演概要	6
展示概要	10
視察内容	13

ご案内 -
地方自治体情報システム研究会 平成 2 5 年度総会

- 1 . 開催日程 : 平成 2 5 年 5 月 2 3 日 (木) ~ 2 4 日 (金)
- 2 . 開催場所 : 東京コンファレンスセンター品川 (港区)
住所 : 〒108-0075
東京都港区港南1-9-36 アレア品川 5階大ホール
TEL : 03-6717-7000
U R L : http://www.tokyo-cc.co.jp/access_shinagawa.html
- 3 . 幹事団体 : 青森県 企画政策部 情報システム課
- 4 . 後援 : 財団法人 地方自治情報センター
- 5 . 受付 : 1 0 : 3 0 よりアレア品川 5 階ホール入口にて受付開始
- 6 . スケジュール : 5 / 2 3 講演・情報交換会
5 / 2 4 セミナー・視察
「見て・聴いて、体感！
行政におけるデータ活用と新しいワークスタイル」

7. 詳細スケジュール（2日間）

1日目：5月23日（木）

時 間	内 容	
10:30	受付開始（場所：アレア品川5階ホール入口）	
11:00～11:15	事務連絡・新役員ご紹介	
11:15～12:15	【特別講演】 『災害に強い電子自治体に関する研究会』の検討結果について 総務省 地域力創造グループ 地域情報政策室 室長 濱島 秀夫 氏	
12:15～13:15	昼 食 ・ 休 憩(60分)	
13:15～14:15	【事例紹介講演A】 大阪狭山市における内部情報業務のクラウド化 /シンクライアント活用事例のご紹介 大阪狭山市 情報統計グループ 課長 中田 行彦 氏	【ソリューション紹介講演A】 地方公共団体におけるスマートデバイス活用最新事例 NEC 公共ソリューション事業部 主任 佐藤 真紗美 氏
14:15～14:35	休 憩（20分）	
14:35～15:35	【事例紹介講演B】 弘前市における総合窓口化の取り組みについて 弘前市 市民環境部 市民課 受付係 主査 葛西 正樹 氏 <hr/> 新庁舎建設とICT導入の考え方（仮） NEC	【ソリューション紹介講演B】 プラットフォーム技術・ソリューションの最新動向と 導入のメリット（仮） NEC プラットフォームマーケティング戦略本部 本部長代理 浅賀 博之 氏
15:35～15:55	休 憩（20分）	
15:55～17:15	【基調講演】 地方公共団体における番号制度の導入について ～個人番号カードを利用した官民連携への展開等～（仮） 東京工業大学 教授 大山 永昭 氏 番号法案とその調査研究事業に関する分析と検討状況（仮） NEC 公共ソリューション事業部	
17:15～18:30	事務連絡 ・ 情 報 交 換 会	

シ
ス
テ
ム
展
示

2日目：5月24日（金）

9:00	集合（場所：日本マイクロソフト㈱ 品川本社 2F）
9:15～12:30	【視察・セミナー】 「見て・聴いて、体感！行政におけるデータ活用と新しいワークスタイル」
12:30	終了・解散

諸事情によりスケジュール・講師等に変更がある場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。

8. 展示（5/23）：

講演会場隣接スペースにて、以下のシステムのデモンストレーションをご覧ください。

総合行政支援ソリューション

コンビニ交付
総合窓口システム

事例紹介講演 B 関連展示

住民情報総合ソリューション

住民情報システム（COKAS-i）
福祉総合システム
保健総合システム
介護保険システム

内部情報ソリューション

自治体クラウドサービス（GPRIME for SaaS 内部情報）
財務会計システム
文書管理システム
人事給与システム
庶務事務システム

事例紹介講演 A 関連展示

地方公共団体におけるスマートデバイス活用ソリューション

福祉分野および災害時のスマートデバイス活用例 他
通訳クラウドサービス
ビデオコミュニケーションクラウド

ソリューション紹介講演 A 関連展示

プラットフォームソリューション

ビッグデータソリューション（映像）
国内シェアNo.1 クラスターリングソフトウェア
「CLUSTERPRO」（クラスタープロ）～仮想環境での業務継続を実現～

ソリューション紹介講演 B 関連展示

参考出展：コミュニケーションロボット

コミュニケーションロボット「PaPeRo（パペロ）」

一部展示内容が追加・変更になる可能性があります。

10．お申込み : 以下の専用サイトからお申込み下さい。

[お申込みはこちらから]

http://www.nec.co.jp/kokyo/info/h25_so_nonmember.html

3月27日（水）から受付開始します。

お申込みは4月26日（金）までです。

11．お問合せ先 : 研究会ご参加についてのご不明点・ご質問等ございましたら、事務局までお問合せください。

（NEC 公共ソリューション事業部内）

地方自治体情報システム研究会事務局

小澤、稲垣

山口、椎名、出川、滝沢（お問合せ窓口）

TEL : 03-3798-1443

E-mail : user@fcs.jp.nec.com

会場アクセスマップ（1日目）

2日目（5/24）は別の会場になりますのでご注意ください。（P. 14 参照）



*メイン会場は、5階 大ホール

（本会場は「アレア品川」というビルの中にあります。駅からの通路を通じて、お越しいただけます。ビルに入り、エスカレーターで5階会場受付までお上がり下さい。）

会場へのアクセス：

- JR品川駅港南口（東口）より徒歩2分
（JR山手線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、東海道新幹線等）
- 羽田空港から京浜急行で品川駅まで14分

特別講演

『災害に強い電子自治体に関する研究会』の検討結果について

総務省 地域力創造グループ 地域情報政策室
室長 濱島 秀夫 氏

【概要】

東日本大震災のような大災害や大規模なサイバー攻撃が発生した場合においても、地方公共団体の重要業務を継続して実施するとともに、地域住民に対して適切かつ迅速なサービスの提供が行われることは極めて重要です。

このため、総務省では「災害に強い電子自治体に関する研究会」を開催し、東日本大震災発生時等の教訓を踏まえ、業務継続およびサービス提供の観点から、地域における災害発生時のICT利活用に関する検討とICT-BCPガイドラインの見直しを検討してきました。その検討結果と今後のBCPの普及についてご紹介します。

事例紹介講演 A

大阪狭山市における内部情報業務のクラウド化 /シンクライアント活用事例のご紹介

大阪狭山市 情報統計グループ
課長 中田 行彦 氏

【概要】

大阪狭山市では、庁内のサーバ機器の老朽化等に伴う、情報部門の職員の負担とコストの増加が課題となっていました。また、大規模災害を想定したBCP/DR対策強化が求められていました。さらに、出先機関を含めた端末の管理を、限られた職員数で行う必要があるという点での業務効率化も喫緊で対応しなくてはならない事項となっていました。

これらの課題を解決するために、平成24年10月から、クラウド環境上で財務会計・人事給与・電子決裁・グループウェアなどを統合化した、内部情報システムの利用を開始しました。システム間のデータ連携が実現したことで業務効率が向上し、災害時における事業の継続性も確保されています。また、シンクライアントも合わせて導入したことで、端末のメンテナンス効率が改善され、業務効率化につながっています。

本講演では、事業の背景や、検討を進める中で出てきた課題とその解決策など、実際に現場で取り組まれた職員の目線でご紹介します。

事例紹介講演 B

弘前市における総合窓口化の取り組みについて

弘前市 市民環境部 市民課 受付係
主査 葛西 正樹 氏

【概要】

弘前市では、来庁された市民の方が「早く、正確に、簡単に」証明書発行や各種届出ができるようになるサポートを行うことを目的として、平成24年7月から総合窓口を開設しています。ICTを活用して、市民が手続きを行う際の手間を省き、効率化を図っています。また、同時に、職員による手続きの案内漏れもなくすることができ、市民の満足度向上につながっています。

講演では、市の庁舎の特性や業務の流れに合わせた、総合窓口の運用や考え方をご説明し、総合窓口を実現するにあたって直面した課題とその解決策、市民アンケートから読み取れる成果をご紹介します。

新庁舎建設とICT導入の考え方（仮）

N E C

【概要】

施設の老朽化や南海トラフ対応等により、多くの地方公共団体が新庁舎の建設・移転をご検討されています。庁舎は行政全般に亘る重要な拠点であり、新規建設や移転にあたっては、ICTの観点からも検討すべきポイントが数多くございます。特に住民サービス向上・災害時の業務継続・セキュリティ対応などは建物設計の前段階から情報部門の関与が必須となります。

新庁舎建設における全体最適化を図るうえでの、ICT検討のタイミングとポイントおよびICTを活用した付加価値向上の可能性についてご紹介致します。

ソリューション紹介講演 A

地方公共団体におけるスマートデバイス活用最新事例

NEC 公共ソリューション事業部
主任 佐藤 真紗美 氏

【概要】

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスの活用は、民間での活用が先行していましたが、より幅広い世代や様々な分野への普及が進み、地方公共団体での活用も徐々に広がりを見せています。

本講演では、スマートデバイス活用の新たなアイディアとして、地方公共団体における災害時の活用などの最新事例も踏まえながら、地方公共団体においてスマートデバイスを導入するにあたっての留意事項や市場動向などをご説明します。

ソリューション紹介講演 B

プラットフォーム技術・ソリューションの 最新動向と導入のメリット（仮）

NEC プラットフォームマーケティング戦略本部
本部長代理 浅賀 博之 氏

【概要】

ICTシステムは、お客様の業務の省力化・効率化に加え、ビッグデータ活用等による新たな価値創造のための武器としての利用も期待されています。また、省力化・効率化を実現するクラウドに加え、ICTベンダーが様々なシステム構築ノウハウを組み込んだ”ソリューション型プラットフォーム”にも注目が集まってきています。

本講演では、メインフレームやオープンサーバ等のハードウェアの今後の展開や、”ソリューション型プラットフォーム”のご紹介、ビッグデータなどにおける最新技術動向をお話しします。

今後のICTプラットフォームの活用のご検討にお役立ていただければ幸いです。

（ 2日目の視察と合わせてのご参加をお勧めします。 ）

基調講演

地方公共団体における番号制度の導入について ～ 個人番号カードを利用した官民連携への展開等～（仮）

東京工業大学 教授 大山 永昭 氏

【概要】

東京工業大学・社会情報流通基盤研究センター（センター長 大山永昭教授）では、政府において平成28年1月の利用開始を目指し検討が進められている「番号法案（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律案）」にも焦点を当てて活動を実施しています。

本講演では、番号制度の最新状況や、個人番号カードを利用した官民連携への展開、本センターでの研究活動概要（ビジネスプロセスマネジメントの検討等）をご紹介します。

番号法案とその調査研究事業に関する 分析と検討状況（仮）

N E C 公共ソリューション事業部

【概要】

平成25年3月1日に閣議決定された「番号法案（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律案）」等と、内閣官房や総務省等で進められている番号制度に係る各種調査研究（実証）事業について、これまでに公表されている情報を基に、NECでの分析と対応状況、影響が予想される地方公共団体の業務システムの対応方針についてご説明します。

展示概要

総合行政支援ソリューション

総合窓口システム

コンビニ交付

住民のライフスタイルに合わせ、窓口で対応される職員にとっても便利で使いやすい窓口を実現するソリューションです。窓口業務に欠かせない「証明書発行」と「手続き業務」において、特に“住民との接遇”を意識した総合窓口の仕組みをご紹介します。

「証明書発行」では、コンビニ交付サービスが全国的に普及し、現在62団体（平成25年3月時点）でサービスが行われています。時間や場所の制約がなくなり、今後さらにニーズが増していくと考えられるコンビニ交付。当日は、サービス導入をサポートするソリューションをご紹介します。

また、「手続き業務」では、住民が「迷わず」「ストレスなく」必要な手続きを終えられる、総合窓口のスタイルをご紹介します。

事例講演Aの関連ソリューションです
講演と合わせてご覧ください

住民情報総合ソリューション

住民情報システム（COKAS-i）

COKAS-iは、NECがこれまでの豊富な実績と、それをもとに蓄積してきたノウハウ、先進のICT技術を融合させたWeb型の最新住民情報システムです。

今後予定されている番号制度をはじめとした新しい制度や、法改正にも迅速かつ安全に対応していきます。行政事務を効率化し、TCO削減をご支援します。

福祉総合システム

専門性・地域性が高い福祉業務に、柔軟に対応できるWeb型の福祉総合システムです。団体毎のニーズに合わせて、業務や事業単位で導入できるほか、複数の業務を総合的に構築することも可能です。長年培ってきた構築経験を活かし、業務効率化と住民サービス向上に貢献します。

保健総合システム

保健事業を総合的にサポートするシステムです。住民の健康促進の支援や保健師業務の効率化をサポートし、保健師の方がより地域に密着して活動するための必要機能を備えています。

また、昨年度の「不活性化ポリオワクチン」や「二次予防」事業などの法制度改正に、いち早く対応することで、保健師の方の円滑な業務遂行をサポートすると共に、TCO削減などさまざまな面でご支援できるシステムです。

介護保険システム

介護保険法施行当初から培ってきた業務ノウハウや、豊富な導入実績をもとに、最新技術を活用して開発したWeb型システムです。高い操作性と優れた機能性・柔軟性により、職員の日々の業務負担を軽減します。また、頻繁に発生する法改正にも迅速かつ確実に対応し、より効率的な介護保険業務の運営と、さらなる住民サービス向上を実現します。

内部情報ソリューション

地方公共団体の内部管理業務の自動化、生産性の向上、および全体最適化を促進するとともに、環境負荷の低減にも貢献します。さらに、多くの稼働実績を有するクラウドサービスをご利用いただくことで、トータルコストの削減、導入期間の短縮、事業継続性の強化が可能になります。

自治体クラウドサービス（GPRIME for SaaS 内部情報）

財務会計・人事給与・文書管理システムをクラウド環境でご利用いただけるサービスです。LGWAN回線でのご利用もサポートしています。スムーズな導入を支援するためのオートデモ、セットアップシート、すべての機能をお試しいただける試用環境もご用意しています。複数団体による共同利用のほか、1団体単独でもご利用いただけます。

事例講演Bの関連ソリューションです
講演と合わせてご覧ください

財務会計システム

地方公共団体の財政事務を総合的にサポートし、行財政改革に貢献するシステムです。豊富な機能、高い操作性を備え、全国約300団体の導入実績があります。公会計制度に基づく財務諸表の作成、資産管理にも対応。また、計画・予算・評価の連携により、精度の高いPDCAサイクルを実践します。

文書管理システム

公文書管理法の施行を踏まえ、歴史的公文書管理の機能強化にいち早く取り組み、意思決定に至る経緯の追跡、公文書の消失防止、行政文書ファイル管理簿による報告等において業界最高水準の高機能性を実現しているシステムです。また、電子データの永年保存に関する課題への解決策もご提供します。

人事給与システム

人事・給与業務の実運用を考え抜いて設計された充実の機能と操作性が高く評価され、多くの地方公共団体でご利用いただいています。他システムからの移行実績も豊富です。また、人事院勧告等への対応はもちろん、継続的な機能強化、最新OS・ブラウザへの対応も保守サービスとして提供しますので、長期的に安心してご利用いただけます。

庶務事務システム

勤務管理、届出申請、旅行命令、支給明細発行など、庶務事務業務を幅広くシステム化し、全庁職員はもちろん、庶務担当職員、制度主管部門の煩雑な事務作業を大幅に削減します。「事象別メニュー」など、職員目線での使いやすさを追求しています。ICカードによる出退勤管理にも標準サポートします。

地方公共団体におけるスマートデバイス活用ソリューション

福祉分野および災害時のスマートデバイス活用例 他

地方公共団体向けのスマートデバイス活用ソリューションとして、災害時の活用事例や福祉分野への活用事例等を、デモンストレーションにてご紹介します。

ソリューション講演 A の関連ソリューションです
講演と合わせてご覧ください

通訳クラウドサービス

近年、通訳を必要とする外国人対象者は600万人を超え、窓口での外国語対応の必要性が増えています。本サービスは、クラウドを活用して、専門の通訳担当者を用意せずに、「いつでも、どこでも、様々な端末から、多様な言語の通訳サービスを受けられる」サービスです。また、スマートデバイスと組み合わせることで、観光分野や災害時の支援業務にもお役立て頂けます。

ビデオコミュニケーションクラウド

震災を教訓に、多くの企業や公共機関が事業継続性計画（BCP）を見直しています。災害時に、民間企業や他の地方公共団体との連携も踏まえた「リモートオフィス環境の整備」として、テレビ会議システム等によるユニファイドコミュニケーションへの関心が高まっています。本サービスでは、既にお使いのスマートデバイスを使って遠隔地からテレビ会議に参加することができます。また、既存のインターネット回線や設備を活用して、簡単に、高品質なビデオコミュニケーションが可能となります。

プラットフォームソリューション

ソリューション講演 B の関連ソリューションです
講演と合わせてご覧ください

国内シェアNo.1 クラスタリングソフトウェア

「CLUSTERPRO」（クラスタープロ）～ 仮想環境での業務継続を実現～

仮想化環境の導入が当たり前となった今、仮想化対象は周辺システムから基幹システムへと移ってきています。しかし、「基幹システムを仮想化しても大丈夫なのか?」「物理環境と同等の可用性は確保できるのか?」といった不安の声は、まだまだ多く聞かれます。今回は、国内シェアNo.1のクラスタリングソフトウェア「CLUSTERPRO」の展示を通じて、基幹システムも安心して使える高可用性システム構築のポイントをご紹介します。

ビッグデータソリューション（映像）

ビッグデータの技術を活用することで、様々なデータを「収集・加工・分析」し、業種の枠を超えた新しい価値の創造を実現することに期待が寄せられています。「高速データ処理」「テキスト分析」「センサー技術」等の技術を組み合わせた、実務におけるビッグデータ活用例をご紹介します。

参考出展：コミュニケーションロボット

コミュニケーションロボット「PaPeRo（パペロ）」

コミュニケーションロボット「PaPeRo」は、人と社会を優しくつなぐNECのロボットです。会話や顔認識ができ、ネットワークを介したソリューションと連携することで「受付・案内」「医療・介護」の分野で活用されています。

視察内容

見て・聴いて、体感 行政におけるデータ活用と新しいワークスタイル

これまで国、地方公共団体、企業で蓄積してきた膨大なデータを分析し、活用することが行政経営やビジネスの可能性拡大につながるとして「ビッグデータ」や「オープンデータ」が注目されています。また、業務の効率化や職場の働きやすさの改善といった観点では「ワークスタイル改革」が世の中のキーワードとなっています。今回は、「行政におけるデータ活用」「ワークスタイル改革」を主なテーマにし、セミナーや関連施設の見学を実施します。

1. 日程 : 平成25年5月 **24** 日(金)
2. 開催場所 : 日本マイクロソフト(株) 品川本社
NECイノベーションワールド 品川ショールーム
〔最寄り駅: JR品川駅〕
3. スケジュール

9:00	マイクロソフト 品川本社 集合
9:15	セミナー マイクロソフト オフィス見学ツアー (移動) セミナー NECイノベーションワールド見学 アンケート記入
12:30	解散
4. 集合場所 : 日本マイクロソフト(株)品川本社 2F (地図 P. 14 参照)
5. 持ち物 : 「入館用バーコード」のコピー (P. 15 参照)

セミナー概要

セミナー

「地方公共団体におけるデータ活用事例 ～収滞納現場における取り組み～」(仮)

㈱エーティーエルシステムズ

地方公共団体におけるデータ活用事例をご紹介します。㈱エーティーエルシステムズが実際に携わった事例を踏まえて、データ活用の考え方や手法についてご説明します。

セミナー

「行政におけるデータ活用～国内/海外の事例を参考に～」(仮)

日本マイクロソフト(株)

マイクロソフトの「Dynamics CRM サービス」を活用することで、地域の情報をリアルタイムに分析し、市民サービス向上を図ることができます。行政が持つ膨大なデータを分析し、情報を“見える化”している国内外の事例をご紹介します。当日はデモンストレーションを交えてご説明します。

セミナー

「最新ICTを用いた住民サービスとシステム運用の効率化をご紹介します」

NEC

「クラウド」「仮想化(サーバ・ネットワーク)」「ソーシャルメディア」「スマートデバイス」等の新しい技術が次々に登場し、ビジネスシーンに活用する動きが進んでいます。多様化、高度化する住民ニーズに、これら話題のICT技術によって応えるソリューションをご紹介します。

マイクロソフト オフィス見学ツアー

日本マイクロソフト㈱では、「お客様とのつながり」「最先端のテクノロジー」「働きやすさと快適さ」をコンセプトに近未来型のオフィスを実現。自社のビジネスに“ワークプレイスデザイン”を合致させて生産性向上につなげ、多様なコラボレーションによって業務を加速することを目指したオフィス環境をつくり上げています。業務効率化や新しい発想を生む、ワークスタイルの一例として実際のオフィスをご覧ください。



NECイノベーションワールド見学

前半のセミナーやオフィス見学ツアーでご紹介した、未来の社会やワークスタイル改革を実現するソリューションとして、以下のブースをご覧ください。

スマートシティブース

「街のエリアマネジメント『City Operation Solution』」

ワークスタイル改革ブース

「テレコミュニケーションを利用したある営業社員の日」

フレキシブル情報インフラブース

「ネットワーク仮想化ソリューション」



地図（集合場所）

品川グランドセントラルタワー 2F 日本マイクロソフト㈱品川本社
受付カウンター「裏手」の集合スペース（9：00集合）



JR品川駅 港南口より
スカイウェイにて直結 徒歩5分

「Café de Crie(カフェドクリエ)」を
目印に、右折するとマイクロソフト社
があります。正面の受付カウンターの
裏手の待合スペースが集合場所です。

当日の緊急連絡先（事務局）
080-1367-1214

5/24（金）ご参加にあたってのお願い ～ 日本マイクロソフト(株)本社 入館について ～

日本マイクロソフト(株)本社では、最新型の来客管理システムを導入しています。今回の視察・セミナーでは、ご参加の皆様に、このシステムを実際に使って体験して頂きます。

つきましては、以下の入館の仕組みをご確認頂き、**お申込み時にメールアドレスのご連絡と、当日は「入館用バーコードのコピー」をご持参**下さいますようお願い申し上げます。

お申込み受付から、当日入館までの流れ

お申込みの際に、入館バーコード送付先E-mailアドレスをご連絡頂きます。（WEB申込みページの「E-mailアドレス（必須）」記入欄へご記入ください。）

WEB申込みページ

http://www.nec.co.jp/kokyo/info/h25_sononmember.html

ご連絡頂いたE-mailアドレスに、来客管理システムより「ご招待メール」が届きます。

<メールタイトル>

Microsoft アポイントご案内/Microsoft Appointment Information

<発信者>

Microsoft Japan Reception System <recptsys@microsoft.com>

「メール本文」および「メールに添付されているPDFファイル」に、「入館用バーコード」が印字されています。**このバーコードのコピーを、当日ご持参ください。**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本メールは、マイクロソフト来客管理システムよりお送りしております。

We would like to express our thanks for your loyal patronage.
This E-mail is sent from the Microsoft visitor registration system.

==== ご来訪内容 =====

■ MS面会担当者/Contact Person

■ ご来訪日時/Date

Barcode Sample

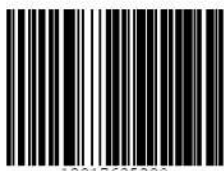
■ 場所/Venue

品川本社/Shinagawa Headquarters

<http://www.microsoft.com/japan/mscorp/branch/sgt.mspx>

■ バーコード/Barcode

来訪者番号/Visitor Number: 12317635280



入館受付端末



入館ゲート



ご来場当日、「入館用バーコード」を入館受付端末に読み込ませると、QRコード付きの入館証が発行されます。

入館証に印字されているQRコードを、入館ゲートのバーコードリーダーにかざすと、入館ゲートが開きます。